

2019年度 第3回 9月 難関大本番レベル記述模試

日本史B・採点基準

記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 原始・古代の史料（2点×10=10点）
- 2 武士の主従制と対等意識（2点×10=20点）
- 3 近世の算盤と和算（2点×10=20点）
- 4 近代の外交（2点×10=20点）
- 5 高度経済成長（2点×5=10点）

*注意事項・許容解など
特になし。

論述部分

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。例外的対応などについては※で示してある）。加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。
2. **歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、1文字につき**1点減点**とするが、脱字、当て字のある**歴史用語**の表記は、非加点。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字があった場合、減点しない。
3. 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

◆採点基準上の記号◆

1. ◎ …前提条件 (例) 「◎**アメリカ**」
「**a 第一次世界大戦**に参戦した」
→答案例「イギリスは**第一次世界大戦**に参戦した」
◎の内容と整合性がないため**非加点**
※◎の内容は答案上に明示されていなくても良い
2. () …前提条件 (例) 「**a (首相の) 浜口雄幸**」
→答案例「**浜口雄幸**蔵相」
()の内容と整合性がないため**非加点**
※()の内容は答案上に明示されていなくても良い
3. [] …別表現 (例) 「**a 益田 [天草四郎] 時貞**」→「**益田時貞**」と「**天草四郎時貞**」
4. () …省略可能箇所 (例) 「**a 遙任(国司)**」 →「**遙任**」と「**遙任国司**」

3 高度経済成長（論述部分）

問5

◆加要素の合計6点→6点満点◆

◎日本

- a GATT11 条国への移行により貿易の自由化が義務づけられた …… 2点以内
※「GATT11 条国への移行」は1点
- b IMF 8 条国への移行により為替の自由化が義務づけられた …… 2点以内
※「IMF〔国際通貨基金〕8 条国への移行」は1点
- c OECDへの加盟により資本の自由化が義務づけられた …… 2点以内
※「OECD への加盟」は1点

問7

◆加要素の合計4点→4点満点◆

◎1972 年の日本外交

- a 田中角栄による …… 1点以内
- b 日中共同声明を発表した …… 1点以内
- c 日中国交正常化を実現した …… 1点以内
- d 台湾〔中華民国〕と国交を断絶した …… 1点以内